

奥の細道むすびの地「大垣」 十六万市民投句

小中学生の部



令和六年度十一月 入賞句一覽 投句数 千四十句

特選

長町 誠司 選

ママさけぶぼくとどんぐりころころり

大垣市

荒谷 桃我 (小三)

俳句の五・七・五の十七音のうち初めの五音を「上五」と言います。読者は、この「上五」を読んだ途端に句の中に引き込まれます。さらに読み終わった時点で、作者の置かれた状況や、それを見たママの慌てぶりを想像することでしょう。童謡「どんぐりころころ」では、どんぐりが転がり続けて池にはまってしまいました。作者はどうだったのでしょうか。

クリスマスサンタにおかしあげました

大垣市

山田 日より (小三)

逆転の発想。誰もがサンタさんからはプレゼントをもらうものだと思いがちです。実際はそうなのですが、作者は逆にサンタさんにお菓子をあげたようです。素敵なプレゼントをくれたサンタさんへのお礼のつもりなのでしょう。また、自宅でのことなのか、イベント会場でのことなのかにより、いろいろな場面が想像できる楽しい一句となりました。作者がサンタさんの正体を知っているかどうかでも句の味わい方が変わってきます。

運動会次の日ピアノの発表会

大垣市

矢野 斗真 (小五)

秋は各地で様々な行事が行われます。大人も子供も、スポーツや趣味を楽しむのに最もよい季節です。この句、運動会という「季節」と、翌日はピアノの発表会という「事実」を取り合ませただけですが、作者の胸中をあれこれと想像することができません。また、通常は室外で行われる運動会の「動」と、室内で行われるピアノの発表会の「静」との取り合わせも効果的でした。

秀逸

猫一匹路地裏ぬけて秋探し

加茂郡川辺町

河合 優菜 (中二)

ヒラヒラと紅葉かつ散る金曜日

加茂郡川辺町

肥田 航青 (中三)

青空へ赤玉なげる運動会

大垣市

市川 珠理 (小三)

サンタさんなにしにきたのはいるなよ

大垣市

中村 康誠 (小四)

欠けている私と同じ三日月よ

大垣市

紙本 紗希 (小六)

ハイタツチくつひもむすぶ運動会

大垣市

野村 水湊 (小四)

秋の蚊がねているときにさしてくる

大垣市

河合 風雅 (小五)

どんぐりと消毒液と君のベそ

大垣市

古野 深月 (中三)

雪だるま溶けてにんじん落っこちる

加茂郡川辺町

座間 海友 (中三)

運動会私の足を風がおす

大垣市

伊藤 三桜 (小四)

入選

小中学生の部

温かいこたつという名のわなだった

加茂郡川辺町

三嶋 仁香那(中二)

新年や忘れられない能登地震

加茂郡川辺町

山口 翠友(中二)

バス待てば冬の足音少しだけ

加茂郡川辺町

河合 優菜(中二)

体重が増えたのきつと秋のせい

加茂郡川辺町

黒岩 夏帆(中二)

冬の風心に届き寒くなる

加茂郡川辺町

山口 陽生(中三)

集会で生徒全員息白し

加茂郡川辺町

大杉 ひより(中三)

山越えて見せてあげたい打上花火

加茂郡川辺町

嶋崎 佑紀(中三)

赤とんぼ夕日に向かつて一直線

加茂郡川辺町

松原 萌夏(中三)

青りんごやさしいパパは力持ち

大垣市

市川 珠理(小三)

あきまつりいろんなおかしおいしいな

大垣市

おくだ こうや(小二)

どんぐりだいろんなかたちおもしろい

大垣市

宮田 莉愛(小二)

運動会力を合わせ走り出す

大垣市

悪七 悠理乃(小三)

きんもくせいあなたがうまれたひのかおり

大垣市

松本 柚希(小四)

サンタさんくるのおそいぞ出してくれだ

大垣市

川ぞえ あおと(小四)

冬の月宿題中にバイバイだ

大垣市

河合 里桜(小四)

きたかぜがズボンのしたをすりぬける

大垣市

むらせ れお(小二)

友だちの家からかきのおすそわけ

大垣市

小川 瑛大(小五)

雨やんでちらつと見えるにじが好き

大垣市

足立 妃葉(小五)

大空をかくすようだねもみじの葉

大垣市

兒玉 琉花(小五)

日がしずみささやく風で葉が落ちる

揖斐郡揖斐川町

加納 有依斗(小六)

選者吟

身に入むや砂丘の砂に頬打たれ

せいじ

